

「アーティストとしてのモード」(チャーチス)

板垣景織田正本

程井田のつむ

2007-12月版

シーン#20B023
兄、終了のお手伝い

〔音響〕 足音（主人公）

〔画面〕 女子寮廊下

…

…

思えば、三階へあがる足取りが「こんなに軽いのも久しいだー。

なじみの先週まで、ここに来るってこつたりこつだつて女王様に叱られるのが田舎と相場が決まってたから。

「……ふあ」

おっと。のび全開であくびをしたら、声が漏れてしまつた。恥ずかしい。

でも俺つてばけつゝの声が透き通つてゐよな。

姫様にお聞かせできないのが残念でならん。

……わかつてゐよ、廊下の残響「こまかされてるだけだつて。でも許せ。もう一回だけ試すぞ。

「……ふあ~~~~~」

〔画面〕 せかし

歌つみひ。音程は適切でいい

〔画面〕 せかし解除、ショイク

いつのまにかそんな至近距離にっ！- 指僧の背後に『気配』もなへ忍び寄るとは、わが妹ながらなかなかの

N01315 のつ） 「お兄ちゃんが」「すまぬだけでしょー」

〔音響〕 音楽M023「のつ」
Aパートーン

〔画面〕 立ち絵 満面の笑顔

ふふ、『声』になつたな。だが妹よ聞くがいい、心して聞くがいい。

おまえがもし兄を慕う心を忘れないならば、背後から声をかける状況においては必ずや

N01316 のつ） 「なにわかんなじ独り言つぶやいてんの、

「気味悪い」

笑顔でやれりつと「氣」に附つかやう感つ。

〔音響〕 ガーン

〔画面〕 ハヒトヘト一段落とし

N
0
1
3
1
7
のうこ 「あは。 もつあたし、お兄ちやんの妹やめ
のよへ。」
(墨)

[音響] がーん²発
[画面] いよいよわせて「ハト」
スイカの皮へ隠遁として白黒に